

**【お問い合わせ先】**

キャタピラー

渉外・広報室

〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい3-7-1

TEL: 045-682-3576 FAX 045-682-3690

本資料はCaterpillar米国本社が2020年11月20日に発信したプレスリリースを日本語に翻訳し、みなさまのご参考を提供するものです。本資料の正式言語は英語であり、その内容・解釈については英語が優先します。

**Caterpillar 21年連続でダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックス  
(Dow Jones Sustainability Indices (DJSI))に選出**

Caterpillar は持続可能性を推進し、お客様がより良い世界を構築するのを  
今までもこれからも支援してまいります。

(イリノイ州ディアフィールド発) — Caterpillar Inc. (NYSE: CAT) は、世界と北米の両方で、代表的な ESG (環境・社会・ガバナンス) 投資の指標であるダウジョーンズサステナビリティインデックス (DJSI) に選ばれました。Caterpillar が DJSI に含まれるのはこれで 21 回目です。

Caterpillar の Jim Umpleby (アンプレビー) 会長兼 CEO は、「私たちの企業戦略を通じて、持続可能性の取り組みを常に前進させ、お客様、社員、コミュニティに新しい機会を提供しています。持続可能性は私たちのコアバリューの 1 つであり、より良い世界の構築を支援するという私たちのグローバルチームの取り組みを表しています。」と述べています。

Caterpillar の 21 回目の選出につながった持続可能性の主な取り組みは次のとおりです。

- チームメンバーがサポートされていると感じる職場を育成し、トレーニングと能力開発の機会を提供し、社員のユニークな才能、スキル、能力、背景、経験を活用していること。
- お客様のニーズを理解し、提供する製品・サービス・ソリューションの価値を高め、お客様からの信頼を得ることにより、顧客の成功を支援していること。
- 持続可能性の強化やリマニュファクチャリングなど、新しく改善された製品、サービス、ソリューションを開発するためのイノベーションに継続的にグローバルに焦点を当てていること。
- Caterpillar 財団の活動を通じて、世界各国において持続可能なコミュニティの構築をサポートしていること。
- サステナビリティ会計基準委員会の推奨事項およびデータのサードパーティ検証に沿った、強化された Sustainability Report (環境、社会、およびガバナンスのレポート)の作成。

毎年の DJSI プロセスでは、企業の経済的、環境的、社会的パフォーマンスのさまざまな要因を評価されます。

Caterpillar の持続可能性の進歩とより良い世界の構築をどのように支援しているかについて詳しくは、2019 Sustainability Report : <http://reports.caterpillar.com/sr/>をご覧ください。

以 上

**キャタピラー社について：**

建設機械の歴史は、1925 年にキャタピラー社と共に始まり、未来へ続きます。世界最大の建設機械メーカーであるだけでなく、エンジン・発電機などパワーシステムのリーディングサプライヤーでもあります。

また、1963 年以来、キャタピラー社は、半世紀以上にわたって、日本に重要な拠点を構えています。特に、主力製品である油圧ショベルの開発・製造をリードし、時代の先端を行く製品と技術を世界へ発信しています。